

お気に入りの1冊と
出会うことができれば、
きっと次の1冊を
探し出したくなるはず。

人に勧められた本や課題として読まなければならない本。本を手にする理由はさまざまです。

どんな本だって良いと思っています。まずは、どんな本でも。大人だからと言って難しい本を手取る必要はないですし、それこそ、絵本が“心に響く”そんなときだってあるかも知れません。

「いまこれを読みたい！」と強く思うものがないならば、とりあえず本を手にとって、ページをめくるのみです。そこで求めているイメージがあれば、気軽に図書室のスタッフに聞いてください。まだ見ぬお目当ての1冊を一緒に探しましょう。



憧れ、
夢に出会いに行こう。

小さなころからたくさん本を読んでいれば、「○○になりたい！」とか「□□に行ってみたい！」だとか。いろんな憧れを抱いたり、夢を描いたり。

だけど、そういった憧れや夢を持つことは、子どもだけではなく、大人になってからでも遅くないと思うんです。大人になってからでも、叶えることのできる憧れや夢もたくさんありますし。そして、そういう目標があると、日常生活も頑張っただけで過ごせるような気がしてきます。綺麗な風景が詰まった本を手にして「この仕事を頑張ったら、どこどこに旅行しに行こっと！」みたいな夢でも良いんです。本は、憧れや夢をより具現化してくれる存在だと思っています。

思いがけない出会いに、
心踊らせることも。

図書室のようなアナログの世界でお目当ての本を探そうとすると、そこにたどり着くまでに、いろんな本の情報が入って来ます。例えば、背表紙や装丁だってそう。そんな情報が目に飛び込んでくるし、そのうちに「ん？なんだかこの本、面白そう」と手に取ってしまうことも。

ネットショッピングなどはすごく便利ですよね。家に欲しいものが届くし、購入履歴などの傾向から商品をオススメされることもあります。しかし、そんな便利な時代だからこそ、少し不自由を味わうのも良いものですよ。図書室にある本棚での出会いは、偶然そのもの。偶然の出会いにワクワクできるのもこういう場所（図書室）の魅力です。

新しい世界、価値観に出会う。
そして、新しい自分と出会う。

自分自身でどんなことでも体験できれば満足いきますが、そうそうそんなことはないですよ。

仕事の世界でも、遊びの世界でも。知らない世界を少しでも知ることができれば、モノの見え方が変わってくるかもしれません。自分と異なる考えなら「ふ～ん」で終わっても良いのです。だけど「そういう考え方もあるのか！」という気付きや「自分ならどう考えるかな」という当事者意識、「これ、どうなっているんだろう？」という探究心などを持つことで、今見ている世界に変化をもたらしてくれることもあります。言葉は、人の心に安心を与えたり、勇気を与えてくれますからね。